

# 「長野ろうきんSDGs レポート」 2024

長野ろうきんは、福祉金融機関としての役割発揮を通じ、SDGs実現に向けた事業運営に努めております。本レポートにおきましては、代表的な取組み内容をご紹介します。

## 重点的に取り組む目標項目及び公表項目

長野ろうきんでは、中期経営計画第Ⅱ期(2022年度-2024年度)のテーマに掲げる“はたらく仲間の未来の安心をともに創る”の実現に向け、SDGs目標項目の中から「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「働きがいも経済成長も」「パートナーシップで目標を達成しよう」の4項目を、重点的に取り組む項目に位置付けております。重点目標の4項目のうち、2項目4取組みに関しては、3か年のKPI(重要業績評価指標)を定めた取組みを実施しております。

## 1 貧困をなくそう

### 3か年KPI設定項目

#### 高金利ローン借換えの取組み

他金融機関等の高金利ローンから借換えを提案する「カリカエ大作戦」を展開し、会員労働組合と協働しながら、組合員の皆さまの可処分所得向上と多重債務の未然防止に努めております。



借換件数	3か年 KPI	▶ 1,000件
	2022年度～2024年度上期	▶ 1,232件
	(うち2024年度上期)	▶ 190件

### 3か年KPI設定項目

#### ライフプランシミュレーションによる個別面談の実施

多様化するお客様のライフプランを支援するため、家計のキャッシュフロー表作成を通じて、お客様の「今」だけでなく「未来の安心」につながる提案に努めております。

実施回数	3か年 KPI	▶ 7,000回
	2022年度～2024年度上期	▶ 7,810回
	(うち2024年度上期)	▶ 2,056回



#### 「ピンクリボン運動」支援の取組み(わたしのミカタ ろうきんchou-chouハートフルプロジェクト)

「ピンクリボン運動」を支援する取組みとして“わたしの積立ろうきんchou-chou”による年間お積立合計額の0.05%、“ろうきんchou-chouローン”の年度末時点での利用残高の0.05%を長野ろうきんが拠出し、公益財団法人日本対がん協会「ほほえみ基金」へ寄付しております。



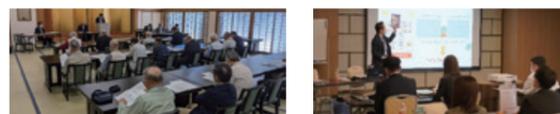
寄付総額(累計)	▶ 14,108,703円
	2023年度寄付額 ▶ 803,373円

【「ピンクリボン運動」啓発活動】

### 3か年KPI設定項目

#### 各種セミナー・学習会の実施

「人生100年時代」を応援するため、年代別ライフプランセミナーや資産運用セミナー等、金融に関する情報提供の場を積極的に設け、お客様の生涯生活設計のサポートに努めております。



【相続セミナー】 【企業型確定拠出年金セミナー】

開催回数 参加人数	3か年 KPI	▶ 800回 15,000人
	2022年度～2024年度上期	▶ 908回 12,632人
	(うち2024年度上期)	▶ 236回 3,434人

#### 「こども基金」の取組み

長野ろうきんの各種ローンをご利用いただくことで、新規ご融資取引1件につき100円を長野ろうきんが拠出し、「長野県みらい基金」を通じて長野県内の子育て世帯の支援に取り組む団体へ寄付しております。

寄付総額(累計)	▶ 5,658,860円
2023年度寄付額	▶ 754,800円



交付団体の皆さまからメッセージを頂戴しております。以下の、QRコードまたはURLからアクセスいただけます。  
[https://www.nagano-rokin.co.jp/about/kosodate\\_shien/#mess](https://www.nagano-rokin.co.jp/about/kosodate_shien/#mess)

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## 4 質の高い教育をみんなに

## — 質の高い教育をみんなに —

### 3か年KPI設定項目

#### 金融教育の実施(学生・キッズ向けセミナー)

長野ろうきんでは、高校生への情報提供の機会を創出し、金融リテラシー向上に資する金融教育に取り組んでおります。学生の頃から、お金に関する知識を学ぶことは、資産形成の重要性を知るとともに、マネートラブルから身を守るための非常に重要な機会であると考えております。



開催回数 参加人数	3か年 KPI	▶ 40回 3,000人
	2022年度～2024年度上期	▶ 156回 7,332人
	(うち2024年度上期)	▶ 10回 370人



### ろうきん奨学会

ろうきん奨学会は、長野ろうきん創立15周年の記念事業として設立されました。子育て世帯を支援する取組みとして、会員のお子様月に月額最大3万円の奨学金を無利子でご利用いただいております。



2023年度新規貸付件数	▶ 144件
奨学金総額(累計)	▶ 6,018件 5,780,880千円

## 8 働きがいも経済成長も

## — 働きがいも経済成長も —

#### 「健康経営」推進に向けた取組み

長野ろうきんは、2024年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました\*。今後も、職員一人ひとりが心身ともに健康で安心して働き続けられるよう、健康経営の推進に努めてまいります。

※「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



#### ディーセントワーク・女性活躍推進の取組み

長野ろうきんは、職員の仕事と子育ての両立を積極的にサポートする「子育てサポート企業」として認められ、2016年6月に「プラチナくるみん」を取得しました\*。引き続き、全ての職員が働きやすい職場とするため、女性活躍推進や男性の育児休業取得の推進等、さまざまな取組みを行ってまいります。

※「くるみんマーク」とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の高い水準の子育て支援を積極的に行っている企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から認定を受けた証です。また、くるみん認定を受けた企業のうち、より高い水準で取組みを行った企業が一定の要件を満たした場合、特別認定(プラチナくるみん認定)を受けることができます。



女性職員の育児休業取得率	▶ 100%
男性職員の育児休業取得率	▶ 92%
男性職員の配偶者出産休暇取得率	▶ 100% (2023年度)

## 17 パートナーシップで目標を達成しよう

## — パートナーシップで目標を達成しよう —

#### 地域・社会活動の取組み(運営委員会自主活動)

各営業店では、運営委員会を中心とした企画・運営による地域に根ざした活動を行っております。また、各種活動を通じた収益金等については、地域や様々な団体へ寄付を行っております。

※運営委員会は会員労働組合等から選出された委員により構成され、各営業店における推進活動の中心的役割を担っています。



ろうきんカップMATSUMOTO少年少女サッカー大会の開催(松本支店)



地域のお祭り「安曇野祭り」への参加(あづみ野支店)



こども食堂へ「棚田米」を寄贈(更埴支店)

#### NPOボランティア団体への支援活動

長野ろうきんは、地域社会が抱える様々な課題の克服に向け、地域で主体的に活動に取り組まれているNPOやボランティア団体等への支援を行っております。



〈ろうきん安心社会づくり助成金〉	▶ 55,692,119円
寄付総額(累計)	▶ 1,600,000円
2023年度寄付額	▶

# はたらく人の **想** いと生きる

## ろうきんの基本姿勢

ろうきんは

はたらく仲間がつくった  
金融機関です。

ろうきんは

営利を目的としない  
金融機関です。

ろうきんは

はたらく人目線で考える  
金融機関です。

(2024年9月末)

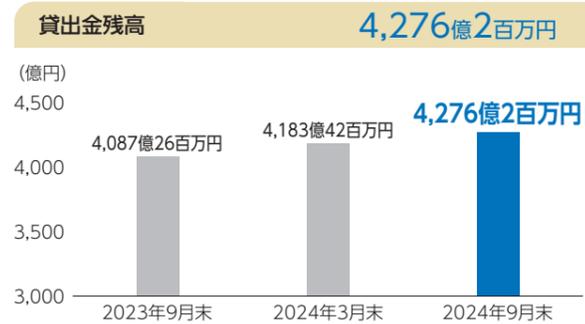
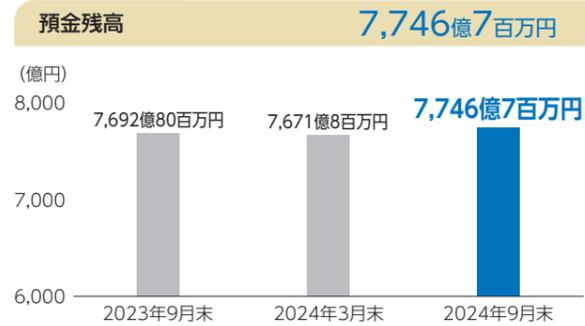
名称	長野県労働金庫 登録金融機関 関東財務局長(登金)268号
本店住所	長野県長野市県町523
電話番号	(026)237-3700
ホームページ	https://www.nagano-rokin.co.jp/
創立	1951年(昭和26年)12月
代表者	理事長 小池 政和

店舗数	20店舗(インターネット長野支店含む) 2出張所・8ローンセンター
常勤役員数	388人
団体会員数	1,614会員
間接構成員数	292,243人
出資金	24億28百万円

## 2024年度中間期における財務状況のご報告

### 預金・貸出金残高の推移

預金残高は、前年度末比74億98百万円増加し、7,746億7百万円となりました。貸出金残高は、前年度末比92億60百万円増加し、4,276億2百万円となりました。



### 資産と負債・純資産の状況

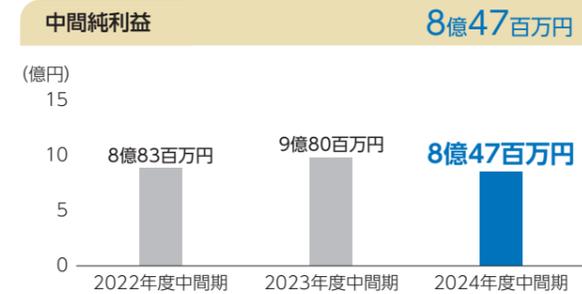
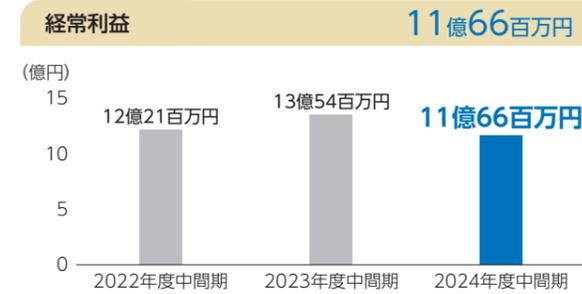
(単位:百万円)



### 利益の推移

経常利益は、経費の増加等により、前年同期比1億88百万円減少し11億66百万円となりました。

その結果、中間純利益は、前年同期比1億32百万円減少し8億47百万円となりました。



### 収益と費用の状況

収益	費用
資金運用収益(貸出金利息など) 44億14百万円	資金調達費用(預金利息など) 2億10百万円
+	+
役員取引等収益 (受入為替手数料など) 1億37百万円	役員取引等費用 (支払為替手数料など) 7億13百万円
+	+
その他業務収益(債券売却益など) 3億18百万円	その他業務費用(債券売却損など) 1億72百万円
+	+
その他経常収益(株式等売却益など) 1億21百万円	経費(人件費・物件費など) 27億3百万円
	+
	その他経常費用 24百万円
<b>経常収益 49億91百万円</b>	<b>経常費用 38億24百万円</b>
<b>1 経常利益 11億66百万円</b>	<b>特別損失 10百万円</b>
<b>特別利益 6百万円</b>	
<b>2 税引前中間純利益 11億62百万円</b>	
法人税、住民税及び事業税 3億7百万円	
法人税等調整額 7百万円	
<b>法人税等合計 3億15百万円</b>	
<b>3 中間純利益 8億47百万円</b>	

### 不良債権の状況

不良債権は、何らかの理由により返済されない等の貸出金で、不良債権比率は、貸出金残高に対して不良債権がどれだけあるかを示したものです。長野ろうきんの不良債権比率は、極めて低水準を維持しています。

期間	比率(%)
2023年9月末	0.76
2024年9月末	0.77

区分	2024年3月末	2024年9月末
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権(A)	3,192	3,328
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	826	898
危険債権	2,165	2,259
要管理債権	200	171
三月以上延滞債権	200	171
貸出条件緩和債権	-	-
正常債権	415,465	424,504
総与信残高(B)	418,657	427,832
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権比率(A)/(B)	0.76%	0.77%

\* 単位未満を四捨五入しています。

### 自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性を示すひとつの基準で、法令で定められた指標です。国内業務のみを行う金融機関は4%以上であることが求められています。

期間	比率(%)
2023年9月末	10.62
2024年9月末	10.63

項目	2024年3月末	2024年9月末(概算値)
1.自己資本の構成に関する主な開示事項		
コア資本に係る基礎項目の額(A)	53,091	53,936
コア資本に係る調整項目の額(B)	191	233
自己資本の額((A)-(B))(C)	52,900	53,702
リスク・アセット等の額の合計額(D)	498,003	505,017
自己資本比率((C)/(D))	10.62%	10.63%
2.定量的な開示事項		
信用リスクに対する所要自己資本の額	19,343	19,624
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	576	576
総所要自己資本額等	19,920	20,200

\* 当金庫では、中間期決算は法定化されておりませんが、内部規程に基づき、3月末末決算に準じた仮決算を行っております。上記2024年9月末の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。